

## インターバンクの声（2015年9月30日）

朝起きてから、ニューヨーク市場の株価、債券、為替、商品市況がどのように動いていたのかをチェックするには、それぞれ個人差があるはずですが、多くの方はPCを立ち上げたり、スマートフォン上で、或いは放送されるタイミングを承知した上でテレビのニューヨーク金融市場と現在の価格を知らせる番組を見たりしていることでしょう。ただ、問題になるのは、値動きを示すチャートとPCなどから得られる各種解説やテレビの市況コメントなどが、どうしてもつじつまが合いにくいと思った時です。そのような時は、結局改めて自分自身で寝ていた間のニューヨーク市場での値動きを検証しなければなりません。今朝も各種解説やニューヨーク市場レポートには、ドルの動きがまちまちとなる中で、カナダドルや豪ドルなどの資源国通貨が上昇したとの内容が目立ちました。これは何か資源国通貨などに影響するニュースや材料があったに違いないと思ったのですが、取り立てて大きな材料も見当たらず、カナダドルや豪ドルの上昇も大したことはありません。たしかに買われているのですが、これは前日にスイスの資源商社株が大幅に下落したことで、資源国通貨も全般に大きく下落していたことによる反動でしょう。どうも最近では、余り金融市場を深く理解していない担当者によるレポートも多く、やはり人任せにせず自分自身の目や耳で情報を精査することが改めて大切だと反省しています。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。